

地鎮祭の流れ

一般的な地鎮祭の流れは次の通りである。

修祓(しゅばつ)	祭に先立ち、参列者・お供え物を祓い清める儀式。
降神(こうしん)	 <p>祭壇に立てた神籬に、その土地の神・地域の氏神を迎える儀式。 神職が「オオ〜」と声を発して降臨を告げる。</p>
献饌(けんせん)	神に祭壇のお供え物を食べていただく儀式。 酒と水の蓋を取る。 
祝詞奏上(のりとそうじょう)	 <p>その土地に建物を建てることを神に告げ、以後の工事の安全を祈る旨の祝詞を奏上する。</p>
四方祓(しほうはらい)	土地の四隅をお祓いをし、清める。
地鎮(いちん)	刈初(かりそめ)、穿初(うがちぞめ)、鍬入れ(くわいれ)等が行われる。設計・施工・建主に振り分けることが多い。   
玉串奉奠(たまぐしほうてん)	 <p>神前に玉串を奉り拝礼する。玉串とは、榊に紙垂を付けたもの。</p>
撤饌(てっせん)	酒と水の蓋を閉じお供え物を下げる。 
昇神(しょうしん)	神籬に降りていた神をもとの御座所にする儀式。
直会(なおらい)	 <p>地鎮祭の式次第が終了したら直会(なおらい)を行う。当地でお神酒で乾杯し、お供え物の御下がりを食する。</p>